



イバラトミヨや川の水質について学習しました

～湯沢北中学校と院内小学校で総合学習支援を実施～

●湯沢北中学校

9月16日(水)、湯沢市立湯沢北中学校にて、河川の水質や絶滅危惧種であるイバラトミヨに関する学習の支援を行いました。

この学習支援では、雄物川の歴史や水質の移り変わり、水質をきれいに保つための取り組みなどの説明のほか、パックテストによる水質の簡易調査を併せて実施しました。また、生徒の皆さんが特に興味を持っていたイバラトミヨについては、湯沢河川国道事務所が今まで行ってきた、雄物川でイバラトミヨが暮らしていけるような河川環境整備への取り組み状況や、生き物を絶やさずに守っていくことの大切さと難しさについての説明を行いました。

生徒の皆さんは、興味深い表情でこの話を聞き入っている様子でした。



イバラトミヨについて学習中



パックテストによる水質調査

●院内小学校

9月18日(金)に湯沢市立院内小学校5年生の児童15名が、高松川について学習しました。

はじめに、立体地図を使った高松川の地形や環境についての説明に続いて、雄物川にどのくらいのゴミがあるかを説明しました。そのゴミの量の多さにビックリした様子で、川にゴミを捨ててはいけないということを学んでいた様子でした。そのあと、パックテストによる水質調査を行ったところ、雄物川の水と高松川の水は、見た目はほとんど変わらないのに、それぞれ薄い緑色とオレンジ色に変わったパックテストの実験結果を目の前にして、実験をした児童の皆さんからは、色が変わるたびに大きな歓声を上げながら驚いた表情が多く見られ、近くを流れる同じ川の水でも、こんなに違いがあることを実感していた様子でした。



高松川はどこにある？



色が変わったよ！